



こんげつの  
とくしゅうは

## ひとりじゃないよ



## ぼうけんはバスにのって

いとう みく／作 山田 花菜／絵  
金の星社 やさしい-イト

しょうがくにねんせい 小学二年生のタクは、なつやす 夏休みにひとりでバスにのって、おばあ  
ちゃんの家に行くことになりました。じゅんびはばっちり！と思っ  
ていたのに…。はじめてのひとりたびは、ハラハラドキドキするこ  
とがいっぱいです。



小学校中学年から  
中学生まで！

## アリゲーターガーは、月を見る

山本 悦子／著  
理論社 YAF-ヤマ

しろ城のお堀に住む外来魚・アリゲーターガーに引き寄せられるように、交通事故で弟を亡くした朔哉、不登校の航、祖母を亡くした葉月は夜の堀にやってきました。ガーは彼らの前にだけ姿を現し、静かに話を聞いてくれます。孤独を解消するのではなく、抱えながら生きることを描いた物語です。



## 12音のフックトーク

こまつ あやこ／作 友風子／絵  
あかね書房 YAF-コマ

ちゅうがくいちねんせい 中学一年生の初奈は、お気に入りの本『ことだまメイト』を読んだ後、ノートに何気なく願いの事を書きました。その瞬間、見ず知らずの中学生の女の子と入れ替わってしまいます。それは「同じ 12音の願いを書いた者同士、体が入れ替わる」というものでした。言葉が人と人をつなぐ物語です。



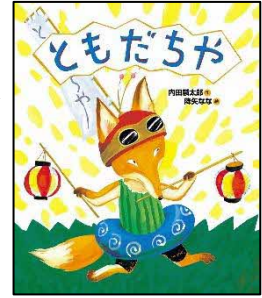
## ともだちや

内田 麟太郎／作 降矢 なな／絵

偕成社 **えほん-フリ**

キツネが しょうばいを はじめました。いちじかん ひゃくえんで ともだちになると いうものです。でも けっこう たいへん。おきやくさんに にがてな いちごを たべさせられて おなかが しくしく。

つぎのおきやくさんも こわそうだなあ…。



## しろうさちゃんとおねえちゃんのかえりみち

田島 かおり／作・絵

ポプラ社 **えほん-タシ**

しろうさちゃんは とてもはずかしがりやです。いつもおねえちゃん<sup>うし</sup>の後ろにかくれます。でも ある日、ほかにかくれられるところを <sup>ひ</sup>みつけました。そして、<sup>かえ</sup>り道<sup>みち</sup>でいろいろなことがおこります。

みんなにたすけられて<sup>せいちょう</sup>成長していく しろうさちゃんのお話<sup>はなし</sup>です。

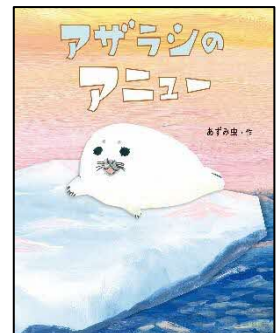


## アザラシのアニュー

あずみ虫／作

童心社 **えほん-アス**

さむいふゆのあるひ、きたのうみで タテゴトアザラシのあかちゃんアニューが うまれました。しかし、おかあさんとは 2しゅうかんでおわかれです。アニューは、たったひとりでたべものをとり、からだはおおきくなり はいいろになりました。さあ、ほっきよくにいるなかまのところへ、しゅっぱつです。



## 屋根の上のソフィー

キャサリン・ランデル／作 佐藤 志敦／訳

岩波書店 **N-ラン**

19世紀末、赤ちゃんのソフィーは、難破船から助け出され、<sup>せい</sup>学者<sup>きまつ</sup>のチャールズに<sup>あか</sup>育てられました。ロンドンで 12歳<sup>なんぼせん</sup>になったソフィは、<sup>たす</sup>母<sup>だ</sup>の記憶と救出<sup>がくしゃ</sup>された時<sup>き</sup>に乗っていたチェロケースを手掛かりにパリへ。<sup>はは</sup>屋根<sup>きおく</sup>の上<sup>きゆうしゅつ</sup>を住处とする子どもたちと出会い、母を探<sup>さぐ</sup>す冒険物語<sup>ぼうけんものがたり</sup>です。

